

平成30年度 第2回 日進市子ども施策推進委員会 議事録

日時 平成30年10月29日(月) 午後3時から

場所 日進市役所本庁舎4階 第3会議室

出席委員 白石淑江、津金美智子、増井澄満子、友松守彦、齋藤由美、牛田由美子、岡田美穂、  
中村正美

欠席委員 高田由紀、磯部尚美、森岡有紀、青柳信弥、西田進太郎

事務局 子育て支援課 石川課長、三好補佐、鳥居係長  
こども課 廣瀬主幹、井筒係長

傍聴可否 可

傍聴有無 無

<次第>

・あいさつ

・議題

(1) 平成31年度の放課後子ども総合プランについて

(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の概要について

(3) 民間保育施設への支援について

・その他

<議事録要旨>

・あいさつ

【委員長】(あいさつ)

・議題

【委員長】議題(1)平成31年度の放課後子ども総合プランについて説明をお願いします。

【事務局】(説明)

【委員長】夏休み中は朝から夕方までですが、日曜日のみ除きますか。

【事務局】土曜日もお休みとなります。夏休み中は、早朝から預かるため加算を検討するものです。

【委員長】約20日間であり、日割りするとそれほどではありません。

【委員】夏休み中は高くなっても仕方ないということも保護者アンケートにあったのでしょうか。

【事務局】そこまでの回答はありません。

【事務局】補足ですが、以前は夏休み期間の料金設定がありました。新たに実施するというより元に戻す形です。

【委員長】元々、これぐらいの金額でしたか。

【事務局】はい。

【委員長】それでは今回のご提案ですが、ご承認いただけますでしょうか。

(全員賛成)

【委員長】今回の変更点については全員賛成で承認となります。

続いて、議題(2)第2期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の概要について

て説明をお願いします。

【事務局】(説明)

【委員】自由記述欄はありますか。

【事務局】自由記述欄も設ける予定です。

【委員長】前回の内容とかなり重なっているということで、ニーズの変化もわかりますか。

【事務局】前回の内容を基本にしているため、5年経過した後、どのように変わっているのかを把握できるのではないかと思います。

【委員長】例えば未就園児について、5年前は教育のニーズの方が高かったものが、どう変わっていったのかということもあります。

【事務局】放課後子ども教室も5年前はまだ全校実施では無かったため、全校実施となった今回、どういった回答がいただけるのかと思っています。

【委員】対象となる方はランダムに選んでいますか。

【事務局】対象となる年代のお子様について、無作為抽出しています。

【委員】ひとり親の世帯にも届きますか。

【事務局】ひとり親の世帯にも届く可能性はあります。

【委員】ひとり親の家庭が増えている印象です。

【事務局】ひとり親の家庭について、それぞれに就労状況などを記載していただく形の設問もありますが、どのぐらいのひとり親世帯にニーズ調査が届くのかまではわかりません。

【委員】障害を持つお子さんのところにも届くかと思いますが、そういった内容を記載する箇所はありますか。

【事務局】自由記述欄にご記入いただいて、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

【委員】前回調査から5年経過したところで、保護者がどういった形で受け止めているのか、その変遷、意識の違いが出てくるのではないのでしょうか。どういった結果になるのか楽しみでもあり、これからの施策の方向性を決めていく大事な調査になると思います。

【事務局】結果がまとまり次第、委員の皆様にもお示ししたいと思います。

【委員】子ども・子育て支援新制度が始まった時点では、行政側も手探りの部分があったと思いますが、1つ1つ審議しながら数値目標を示してきており、行政側の施策に関わる方向性はかなり定着してきた部分もあるかと思います。情報をどのように保護者の方が扱うかという話も大事なところで、ニーズ調査に回答する方がこうしたことを全く知らないで回答しているのか、知った上で回答しているのか、その部分で非常に関心が高いところだと思います。

【委員】幼稚園、保育所等の土日祝、長期休暇中における定期的な利用希望について、幼稚園では土曜日や日曜日はなかなか出来ないのが現状です。それから、幼稚園、保育所等の不定期の利用、宿泊等を伴う一時預かりについて、幼稚園では一時預かりというものはありません。こういったことが一緒になって記載されているのが気になります。

【事務局】実際の希望としてどう考えているのかをお聞きするものです。

【委員】幼稚園で不定期というのはあり得ないのではないかと思います。

【事務局】幼稚園の預かり保育という回答が選択肢にあり、その中で、通常就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合と示されており、年間何日ぐらい利用しているのかをお聞きする形です。

【委員】幼稚園を利用していない方が不定期に利用するという話かと思っていました。

- 【委員】子ども・子育て新制度の中では、幼稚園における預かり保育も一時預かり事業の一環として関わっています。一時預かりというと、保育所の一時預かりと考えてしまいますが、一時預かりと幼稚園の預かり保育が同じものなのかどうか、回答する人にわかると良いです。
- 【委員】幼稚園における預かり保育は約90%が不定期です。
- 【事務局】選択肢の回答としては、保育所の一時預かりと幼稚園の預かり保育とに分かれています。
- 【委員】項目だけ見ると全部統一されているのかと思いました。
- 【委員】子ども・子育て支援新制度の仕組みが頭の中に入っていないと、これとこれが同じなのか、違うのかというのはなかなかご理解いただけないかと思います。
- 【事務局】できる限り丁寧にお聞きしたいと思います。
- 【委員】以前、市のアンケートの回答をしました。20ページぐらいありましたが、正直大変だと感じました。
- 【事務局】ギリギリの量ということでご理解いただきたいと思います。
- 【委員】放課後の事業というと、市内にはいろいろな種類がある現状で、どこまで聞きますか。
- 【事務局】就労支援の事業である放課後児童クラブと、放課後子ども教室は分かれています。民間の児童クラブと公設の児童クラブの区分まではしていません。
- 【委員】何時まで必要ということは聞きますか。
- 【事務局】何時まで利用したいという回答が出てきますので、潜在的なニーズがわかるかと思っています。
- 【委員】5年間の施策の効果を計るような仕組みになっているのでしょうか。それから、子育て総合支援センターの利用状況をどのようにお聞きしますか。ファミサポについてもどのようにお聞きするのか知りたいと思います。また、情報入手の仕方を追加されるということですが、情報発信業務の関係からどういう聞き方をしているのかを知りたいです。
- 【事務局】施策の効果を計る仕組みにはなっておりません。施策の進捗状況については、毎年評価シートを作成していますので、そちらで確認する形だと考えています。センターの利用状況については、利用の有無、回数等をお聞きします。ファミサポについても利用の有無と利用時間をお聞きします。また、情報入手の質問については、媒体をお聞きするものです。
- 【委員長】情報の種類はどのように考えていますか。
- 【事務局】大枠で子育てに関する情報について、どのような媒体で入手されているのかをお聞きしたいと考えています。
- 【委員】複数回答ですか。
- 【事務局】主なものを2つ回答していただきます。
- 【委員】母子保健に関する内容が見当たりません。施策の中には含まれていると思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。
- 【事務局】今回のニーズ調査については、教育・保育の量の見込みの他、放課後児童健全育成事業の量の見込みを中心にお聞きする形になっているため、母子保健の内容を手厚くしてしまうとページ数が増えてしまいます。
- 【事務局】健康課のいきいき健康プランにおいて進捗管理を行っているため、こちらのデータを活用したいと考えています。
- 【委員長】子ども・子育て支援事業計画の方にはもう記載されていますね。
- 【事務局】横断的な内容であり、数値も健康課からもらっています。
- 【委員長】集計が終わるのが1月下旬ということですが、もう1回会議はありますか。

【事務局】 3月にもう1回開催予定ですので、そこで主だった項目をお示ししたいと思います。

【委員長】 続いて、議題（3）民間保育施設への支援について説明をお願いします。

【事務局】（説明）

【委員長】 現状の数値は大体推計値のとおり増加していますか。

【事務局】 ほぼ近い数字です。

【委員長】 来年、再来年に向けて増加していくということですか。

【事務局】 区画整理事業も赤池地区で進んでいますので、そうしたところでも子育て世代の方が増えてくると思います。

【委員長】 地域によってすごく差があります。また、消費税増税絡みの幼・保無償化について、来年秋なのか、もう少し先なのか、そのあたりはいかがですか。

【事務局】 来年の秋ではないかと考えていますが、国や県からの正式な通知はまだ届いていません。

【委員長】 違う意味での待機児童も増えると思われます。

【事務局】 保育所を整備し、充足させていくことで、追いつき、追い越されないような形で先手を打っていきたいと思います。

【委員長】 小規模保育施設はどこにありますか。

【事務局】 現在5園あります。赤池、梅森台、竹の山にある3園が平成28年度に開設した園であり、平成29年度に事業者選考を行い、平成30年4月に香久山で2園が開設しました。また、平成31年度開設予定ということで今年2園公募させていただきました。1つは認可施設へ移行するものであり、もう1つは新規施設となっております。

【委員長】 赤池地区はイトーヨーカドーの近くで開発しているので人口が増えるというのはわかりませんが、香久山地区というのが意外です。

【事務局】 イトーヨーカドーの敷地内においては、今年度から新たに私立保育園が開設しています。

【委員長】 人口減少により、幼稚園、保育園いずれも定員割れとなっている市町もあります。

【委員】 そういったところでは幼保連携型が良いと思います。

【委員】 今から日進市内で幼保連携型を実施しようとしても、保育園、幼稚園それぞれ行きたいというニーズがあるため難しいです。

【委員長】 今度のニーズ調査でそのあたりが分かるかもしれません。

【委員】 当初、幼保連携型を検討したことがあります。しかし、保育園がこれだけ出来てくると幼保連携型にする意味がありません。また、日進の土地にあるものの、日進の子が少なく、長久手市の子が多い場合なども難しいです。

【委員長】 では、今回の平成32年度以降の民間保育施設への支援について、ご承認いただけますでしょうか。

（全員賛成）

【委員長】 全員賛成で承認されました。それでは、その他ということで事務局からお願いします。

【事務局】（その他2点説明）

なお、次回の委員会は3月ごろの開催を予定していますが、日程が決まり次第、皆様にお知らせいたしますのでよろしくお願い申し上げます。それではこれで第2回子ども施策推進委員会を終了します。本日は、ありがとうございました。

（閉会） 午後4時